

『時事直言』 No.1727 2025年2月25日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

ICC(国際刑事裁判所)指名戦争犯罪人プーチンと ネタニヤフを愛するトランプ

ウクライナに奇襲、侵攻したロシア大統領プーチンは ICC から戦争犯罪人として指名手配されている。

又ハマスのミサイル攻撃の報復としてガザの住民を無差別殺戮したイスラエルのネタニヤフ首相も戦争犯罪人として逮捕状が出ている。

ネタニヤフはハマスから 3,000 発のミサイル奇襲の報復としてハマス壊滅を国民に誓い国民の喝采を受けたが、実はネタニヤフはハマスのミサイル攻撃を事前に知っていた。

ネタニヤフはハマスがイスラエルに対するミサイル攻撃の準備をしている段階から発射に至るまでガザ常駐の諜報部員から逐一報告を受けていた。

ネタニヤフはハマスのイスラエル攻撃を止めることが出来たのに止めなかったのは、たとえ犠牲を出してもハマス壊滅を報復という形で実行したかったからである。

トランプは、ウクライナ戦争を起こしたのはゼレンスキー(ウクライナ)であり、欧州だと言ったことからゼレンスキーと欧州首脳たちから非難され、イギリスのボリス・ジョンソン元首相は、(真珠湾攻撃は日本がしたのに)「トランプは、まるで真珠湾でアメリカが日本を攻撃したと言うのと同じことを言っている」と言った。

確かにプーチンもネタニヤフも侵略者、戦争犯罪人とされているが、「本当のところ」はどのようなのだろうか？

2014年3月、ウクライナで CIA と国務省が支援する民間軍事組織アゾフ大隊がデモを扇動してクーデターを起こし、ヤヌコビッチ親口政権を打倒、ヤヌコビッチは殺害を免れてロシアに亡命した。

ロシアは報復として同年4月ウクライナ自治区のクリミアを併合した。

ヤヌコビッチ後 NATO 加盟を最優先政策とするゼレンスキーが大統領になると、プーチンはゼレンスキーに対してウクライナの NATO 加盟は許せない、いかなる手段を講じても阻止すると繰り返し述べている。

2022年1月からウクライナの NATO 加盟が加速して来たのでプーチンは約 20 万の軍隊をウクライナの国境に集結して圧力をかけた。

プーチンには初めからウクライナに軍事侵攻する予定はなかった。

それはプーチンが軍事侵攻を命令した時軍のトップも議会も驚いたのを見れば分かる。

親口政権を転覆させた CIA の民兵組織は 2 月になってロシア軍がウクライナ国境への移動が完了するのを待ってドネツク、ルハンスク等ロシア住民地域で大量殺戮を始めた。

ロシア人学校を爆破、道路に地雷を設置し抵抗する者を殺害した。

私はこの事実を現地取材したフランスのルモンド紙の友人記者から知らされたが、報道は禁止されているとのことであった。

2014年ロシアがクリミアを併合した時、ほとんどの住民がロシア人のドネツクとルハンスク州はそれぞれドネツク人民共和国、ルハンスク人民共和国として独立宣言をしていた。

両共和国はプーチンにロシア住民救済の為に軍事出動を求めたのでプーチンは即座に両共和国をロシア議会で承認すると同時に、ロシア住民救済の為に軍事侵攻した。

プーチンのウクライナ侵攻 2022年2月24日前の2月19日にバイデン大統領はホワイトハウスでの記者会見で「あと数日でロシアはウクライナに侵攻する」と述べ、記者の質問に対して情報源はCIAだと答えた。

CIAは、プーチンはロシア人が目の前で大量殺戮されているのを、指をくわえて見ていられる人間ではないことを知っていたからである。

トランプは、プーチンをウクライナ侵攻させたのはロシア住民殺害とプーチンの言うこと無視してNATO加盟に猛進するゼレンスキー、さらにウクライナのNATO加盟を後押しする欧州だと言うことが分かっているのである。

イギリスのボリス・ジョンソン元首相が、真珠湾を攻撃したのは日本なのに、アメリカが日本を攻撃したと言っているようなものだ、と言ったのは表向きの話しであって、ジョンソンもトランプも、日本に対して中国からの日本軍即時完全撤退を突き付けたハルノートこそがアメリカの対日宣戦布告であり、日本は追い詰められて真珠湾攻撃に走らざるを得なかった事実をよく知っている。

「新高山登れ」という大本営の真珠湾出撃命令の暗号は即座に解読されルーズベルトに伝わっていた。(米公文書館記録)

真珠湾攻撃はルーズベルトにとっては奇襲ではないが、親日が多いアメリカ国民に対日感情を煽るには日本の奇襲、だまし討ちが必要だったのである。

ジョンソンがわざわざ真珠湾を持ち出したのは、自分は他の欧州の首脳とは違うことをトランプに知ってもらおうである。

ジョンソンがトランプに言っているのは、俺はあなたが言う通り、ウクライナ戦争の責任はゼレンスキーと欧州にあることはわかっているけれど、あえて他の連中と話しを合わせているだけだよ、教科書には書いていないけど、日米戦争を始めたのは日本ではなくアメリカであったように、ウクライナ戦争を起こしたのはゼレンスキーと欧州であることはわかっている。

俺は、本当はあんたの味方なんだからウクライナのレアアースなど利権のおこぼれを期待しているよ。これがトランプとジョンソンだけにしか通じない会話である。

しかし実はウクライナ停戦もトランプにとっては単なる道具でしかない。

「佐渡へ佐渡へと草木もなびく」と言うが、トランプの終局の狙いは何か？

「小冊子」Vol. 147をお読み下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。